

県立大“いつでも青春キャンパス®”

シニア大学生②期生 Vol.7

キャンパスライフ紹介!

仕立て方で、成長変わる？

菅原さん 3種のナスで栽培実験（8月20日）

シニア大学生の菅原文夫さん（74）は櫻井健二教授（園芸育種学）の指導の下、枝の仕立て方や誘引方法（支柱などへの固定法）の違いによるナスの収量の差について研究しています。最初に出た枝など勢いがある3本を残す「3本仕立て」や、残す枝の本数を限定しない育て方など、計3パターンで白ナス・大長ナス・水ナスをそれぞれ栽培しました。収穫期の8・9月は手塩にかけて育てたナスの重量を一つ一つ測り、データ収集を進めています。「どの仕立て方も同じくらいの収量のイメージだけど、実際のところはどうかな」。データを統計分析し、研究結果をまとめます。

▲大きく育ったナスを収穫する菅原さん（8月20日）



「いつでも青春キャンパス®」は選考を経た65歳以上の県民が1年間勉強や研究に取り組める新プログラムです。